

「診療・教育・ライフイベントを両立できる環境」

消化器内科

橋爪 瞭先生 2022年 昭和医科大学卒業 2024年入局



はじめまして。内科専攻医 2年目の橋爪です。

私は昭和医科大学を卒業後、昭和医科大学病院で初期研修を行い、現在は当センターに所属しています。

当センターの大きな特徴は、消化器内科と消化器外科が同じ医局として一体となり、診療・教育を行っている点です。日常診療の中で自然に意見交換ができ、診断から内科的治療、外科的治療まで、消化器疾患を多角的に学ぶことができます。医局内は非常に風通しが良く、内科・外科の垣根を感じることはありません。

内視鏡診療も非常に活発で、専攻医 1年目から上部消化管内視鏡だけでなく、大腸内視鏡や胆膵内視鏡にも段階的に関わることができます。指導医の先生方のもとで、一つ一つの手技を丁寧に学びながら、実践的な経験を積むことができる環境が整っています。

また、医局の雰囲気が良く、上級医の先生方に相談しやすいことも当センターの魅力の一つです。診療や手技のことだけでなく、進路や働き方についても親身に相談に乗っていただいています。私自身、専攻医 2年目の途中で育児休業を取得しましたが、周囲の理解とサポートのおかげで、安心して復帰することができました。ライフイベントと両立しながら働く環境があると実感しています。

消化器領域を幅広く、かつ実践的に学びたい方にとって、非常に魅力的な研修環境だと思います。

ぜひ一度、当センターの雰囲気を感じに来てください。

私たちと一緒に働く日をお待ちしています。